

西来馬岳(742m) 山行記録

実施日 令和5(2023)年4月1日(土)

参加者 澤田(CL)、光浪、川村、津川、笹山、長沼、

略行程 7:25 切割前→7:50 三合目→9:00 小屋→10:00 カムイヌプリ山頂→11:00 西来馬岳山頂
→11:50 カムイヌプリ山頂→12:00 昼飯 12:20→12:55 小屋 →13:50 三合目

平均年齢76歳の気が若い(老男老女)6名が登山に出発。道道横のゲートが空いており、乗車のまま、切割前の広場に駐車。

小屋に到着。7合目まで行ってきた登山者が下山して



カムイヌプリ山頂

きた。室蘭岳に比べ

静かな山を感じる。我らは、アイゼンを装着。

小鳥のさえずり【歌声、伝言、警戒声】を聴きつつ、落葉樹の枝ぶりと、青空を楽しみながら登る。



カムイヌプリ山頂からは、アップダウンの連続。雪は締まっており、たまにヌカルがスノーシューが必要まではなかった。

奥カムイ前の鞍部から西来馬岳の稜線の間をトラバースした時、稜線に発達した雪塊は青く氷山の様子であった。雪塊の上部は大きなクラックが確認され、なるべく室蘭岳側を歩いた。

山頂に到着。山頂標識を探すこともなく、眺望を楽しむでもなく、即復路に【その訳は、皆様空腹だったのです】。

カムイヌプリ山頂下で、待ちに待った昼食。西来馬岳までを往復した、厚卵焼きとパイナップルありがとうございます。



西来馬岳山頂

小屋からの下山は、小屋解体作業道路として期待される、新たな作業道を、道路状況を確認しつつ下山しました。

会計担当は、かなりしっかり業務をこなしていました。

皆様、ご協力ありがとうございました。また、楽しく登りましょう。



稜線のクラック



青空とダケカンバ